

鼓童文化財団の人材育成

研修生 想いを寄せて ～2019年11月～

豊かな自然に囲まれた全寮制の研修所で共同生活を行い、日々稽古に打ち込む、鼓童の舞台を目指す「太鼓芸能集団 鼓童」メンバー養成コース研修生。今年は2年生7名、1年生9名が集いました。

来年1月、2年生は研修を修了し、準メンバーへの選考の時を迎えます。また、1年生は進級選考が待っています。自分自身と向き合い、夢に向かって悩んだり迷ったりしながら、一生懸命成長しようとしている16名の想いがここに詰まっています。



様々な稽古・講義

研修所では、太鼓はもちろんですが、踊り、唄、笛などの楽器の演奏技術も学びます。鼓童メンバーが直接指導する時間、合同で稽古する時間のほか、研修生が自分たち自身で考え自主的に稽古する時間もあります。

太鼓の稽古は基本的な打法から始まり、鼓童の代表的な演目である「屋台囃子」「太太鼓」「三宅」「千里馬」「モノクローム」など、様々なスタイルの太鼓を学びます。踊りは岩手の「剣舞」や、佐渡の方から習う「鬼太鼓」「小木おけさ」など、また津軽手踊りや、琉球舞踊なども学びます。

唄の稽古では、発声・音程・リズムなどの基本から、作曲や合唱も行います。また、各地の民謡、アイヌの唄など、様々な唄に触れます。笛は主に篠笛を用いて音の出し方から始め、鼓童の舞台の演目を中心に学びます。また、選択制で箏や胡弓、三味線などにも取り組みます。

外部からお招きする講師は、島内外から幅広い分野に渡ります。合宿形式で集中的に指導いただく方と、年間を通して定期的のみみていただく方があり、研修所にお越しいただくほか、酒造り体験では実際に酒蔵に伺い、俳句の時間には、戸外で俳句をよむ吟行(ぎんこう)なども行います。



太鼓(野外での稽古)



踊り

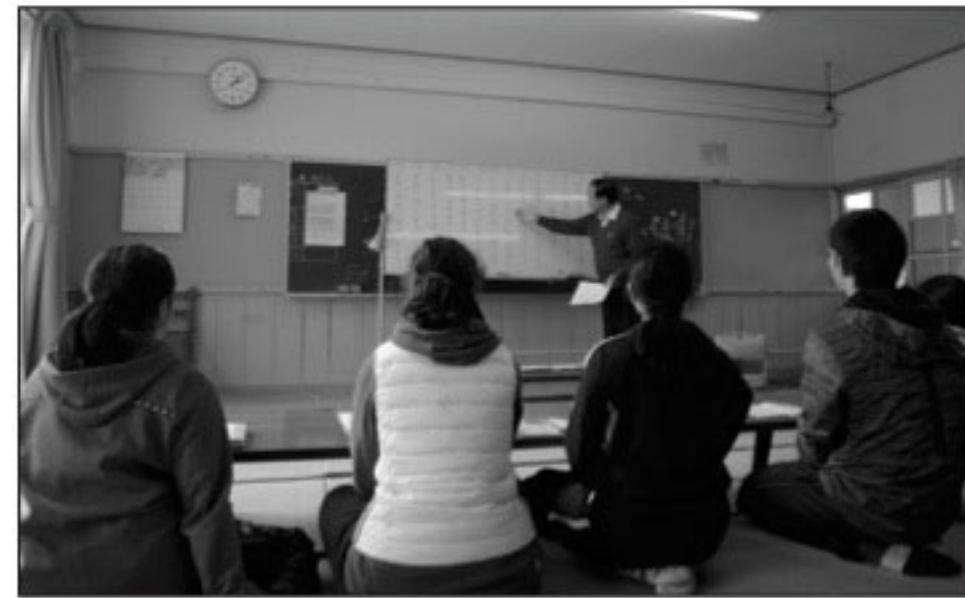


唄



笛

鼓童メンバー：見留知弘(太鼓ほか)、阿部好江(太鼓、唄ほか)、小松崎正吾(太鼓ほか)、住吉佑太(太鼓)、三浦友恵(踊り)、宮崎正美(太鼓、交流公演)、
講師(主な担当) 齊藤栄一(太鼓)、小島千絵子(踊り)、藤本容子(唄、発声)、藤本吉利(太鼓、唄、剣舞)、山口幹文(笛、邦楽器類)



俳句



水口囃子



琉球舞踊



ランニングの基本



茶道



能

柿野浦、岩首地区ならびに佐渡の皆様 山本健三 「ランニングの基本」 佐渡市陸上競技協会 理事長 桃井宗生 「茶道」 裏千家学校茶道教授 松田祐樹 「講義」 佐渡の芸能研究者 野村和仁 「水口囃子」 水口ぼやし 水口囃合代表 野上結美 「ヴォイストレーニング」 声楽家 葛原正巳 「陶芸」 日下敏敬 「柿畑の作業」 弘仁寺住職 金城光枝 「琉球舞踊」 琉球舞踊家・ 太主流華の会師範 京矢彩希 「ボディワークトレーニング」 ピラティストトレーナー 狩野泰一 「篠笛」 篠笛奏者 金子竜太郎 「身体基礎」 和太鼓奏者 「酒蔵見学・酒造り体験」 「金鶴」醸造元 加藤健／加藤酒造店の皆様 小木さざ波会 「小木おけさ」 岩崎ちひろ 「魚のさばき方」 魚屋 伊藤多喜雄 「唄」 民謡歌手 石川義純 「津軽手踊り」 宗家石川流師範 朝倉大輔 「能」 シテ方 宝生流能楽師 赤塚五行 「俳句」 新潟日報佐渡版 俳句選者 青柳洋子 「能」 宝生流教授囃託 二〇一九年講師の先生方 (五〇音順・敬称略)

スタッフ講師：赤澤京(柿作業立会い)、石原泰彦(農作業、剣舞、生活面全般)、大井キヨ子(小木おけさ踊り、裁縫)、後藤美奈子(俳句立会い)、
菅野敦司(自由研究)、高津万理(料理、茶道立会い)、本間康子(サンバ打楽器、能楽立会い)

くらす まなぶ つくる

様々な稽古や農作業やものづくり、そして共同生活。1年目は表現のための土台づくり、
2年目は実地研修などにより実践的な力を養い、自分たちの心身を耕していきます。

祭りへの参加

研修所にほど近い岩首(9月)・柿野浦(4月)の集落の祭りに受け入れていただき、生活の折りから生まれた芸能を肌で感じていきます。また、島内各地の祭りを見学し、様々な芸能に触れる機会もあります。



農作業

できるだけ手作業で、五感で感じることを大事にしながら行っています。田んぼは春先に種もみを選び、苗に育てるところから始め、田植え、草取りを繰り返し実りを待ちます。収穫した稲は「はざ」にかけて天日で干します。



ものづくり

入所後すぐに、食事時に使う竹の箸を手作りします。その後、角材にカンナをかけてパチを作ります。パチは太鼓の音を出すための大切な相棒です。鼓童の舞台メンバーになっても自らパチを作ります。その他に陶芸なども行います。



くらし

研修所での共同生活は、人と人とのつながりの中で生きていく力をつける大切な学びの要素です。魚のさばき方を地元の魚屋さんから教えていただき、毎日のメニューに魚が登場します。食事は、なるべく加工品を使わず、旬の食材で、1・2年生約20名分を当番で作ります。



地域との交流

毎年11月に開催する「収穫祭」。研修所の近隣の集落の方々や、講師の先生方など、日頃お世話になっている皆様をお招きして感謝の気持ちを伝えます。

また、研修所から最も近くにある松ヶ崎中学校との交流会を、春と秋に毎年行っています。



実地研修

「鼓童佐渡宿根木公演」では鼓童メンバーと同じ舞台に立ち、一般のお客様の前で演奏する経験をします。また、佐渡島内の中学校を訪れて行う「交流公演」では、演奏や話で一つの公演を組み立てるなど、実践的な力を養います。



メンバーとの合同稽古

合同稽古では、メンバーが公演ツアーの中で自ら感じ、悩み、必死に稽古してきたものを、研修生一人ひとりに対して、ほぼマンツーマンで丁寧にアドバイスをしています。





「太鼓芸能集団 鼓童」メンバー養成コース

二年生

〈37期〉

ありのままのわたし

さの みか
佐野未佳

19歳 愛知県名古屋市出身

「あの舞台に立ちたい。」
生まれつきの障がいも理由に、今までやりたいことを諦めてきた自分が、初めて目指したいと思えた場所が鼓童だった。
やれるか、やれないかわからない。やりたいから研修所に来た。研修所で生活していると、気持ちだけじゃ追いつかないこともある。だけど、それでもいい。何か一つの事に向かって必死になれるのが楽しいし、燃える。その中で小さな気づきや発見が嬉しい。
もう諦めたくない。太鼓と、自分と向き合って、進み続けたい。夢を追いかけるチャンスくれた家族への感謝の気持ちをお母さん、いつも見守ってくれてありがとう。



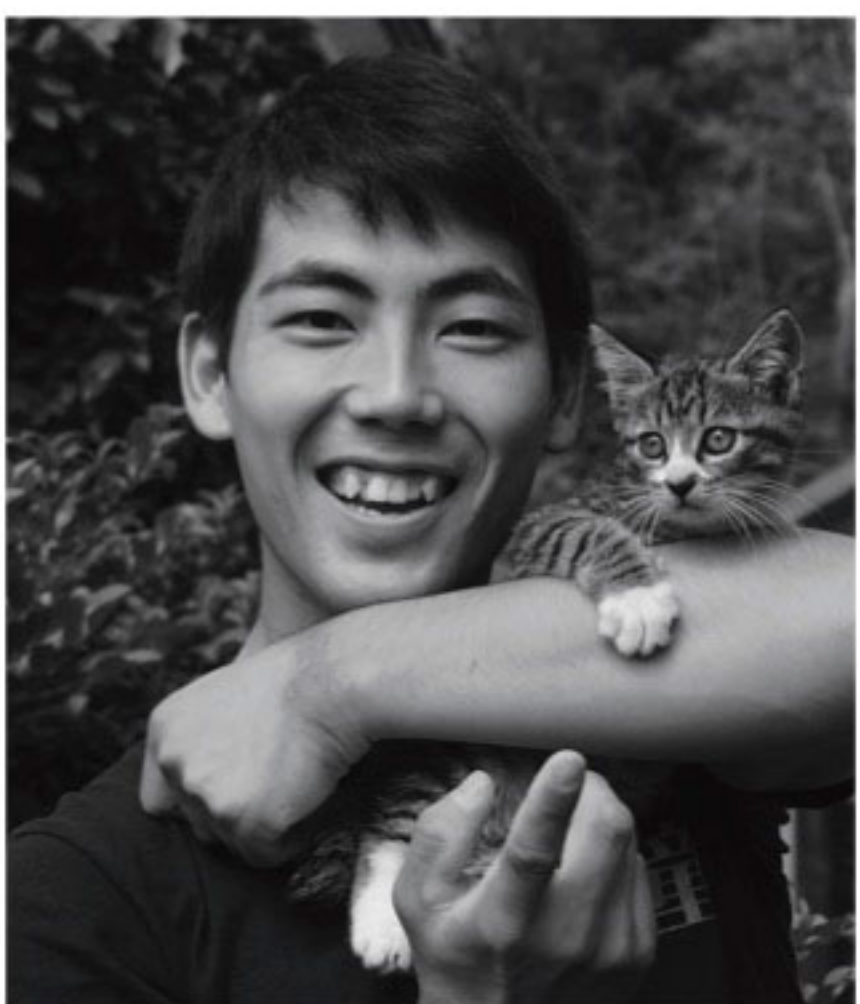
音楽

やまぐち りょう
山口 諒

19歳 愛媛県宇和島市出身

僕は、幼い時から音楽が好きです。何故なら、音楽には聴くだけで人の心を動かすゴイ力があると思うからです。僕はそんな力を使いこなしていると思つた「鼓童」のメンバーの一員となり、自分もその力を手に入れたいと決意して、研修生になりました。

鼓童には「生活即舞台」という言葉があります。日々の姿勢が、演奏や楽器の転換の時の姿勢に現れます。また、普段から物を大切に扱うと、舞台でも意識せずに丁寧に扱えるようになります。その言葉の意味を実感した時、日々の生活に無駄は無いのだと気付かされました。この生活が自分の感性を豊かにして演奏のレベルを上げるのだと感じます。
これからの経験を重ね、多くの人に音を楽しみ届けたいと目指していきます。



火種

よしおか
吉岡めぐみ

20歳 宮崎県延岡市出身

先日、佐渡の中学校で交流公演をさせていただき、その中で自分の夢の話をする時間があった。「なぜ研修所に来たのか。」鼓童の舞台で何をしたいのか。「自分の中にある答えを探すこと。そこからずっと逃げてきたテーマだった。その答えをはっきりさせることで、自分の舞台への想いが同期よりも弱いと思われるかもしれないと不安を感じていたからだだった。だけど、夢は比べるものじゃない。自分の想いや夢を中学生の前で口に出してみ、それを大切にしたいと思えた。自分の想いは嘘ではないし、夢があるからこそここまでこれた。
想い描く理想の自分が変わっていくかもしれないけれど、今は、今のこの夢への火種を大事に燃やし続けて、弱気な自分を前進させていきたい。



支え

おくの たける
奥野天翔

20歳 東京都板橋区出身

今の自分がいるのは皆の支えがあるからだと言言。自分は研修所の生活をしていてそれを強く感じている。

楽しい時や嬉しい時、悲しい時、辛い時、家族や大切な人はもちろん、なかなか会わない友人や知人のことも頭に思い浮かぶ。そんな人たちの存在があるからこそ、自分は好きな太鼓を打ち続けたい。そのことへの感謝を忘れずにいたいと思う。

太鼓を打つうえで一番に大事だと自分が思うのは「気持ち」。太鼓ほど気持ちが伝わる楽器はないと思う。自分はこれから先支えてくれる皆への感謝の気持ちを大切に夢へと向かって行きたい。そしていずればそんな気持ちを、太鼓の音で恩返しとして皆に伝えたい。皆と頑張る。



全力で向き合う

いけやま せらみ
池山空見

26歳 愛知県名古屋市出身

鼓童の舞台でやりたいことは何か。自分のアピールポイントは何か。その答えを探していましたが、具体的なものが見つけられずにいました。

鼓童のメンバーになるということ自体が、私にとってすごく高いところにある夢で、その先のことには考えられていませんでした。そんな自分に不安を感じている時、「今与えられているものに一生懸命取り組むことが大切で、その先に見えてくるものがある」という言葉をもらいました。その言葉のおかげで、自分が今まで研修所でやってきたことに、少しだけ自信をもつことができました。また、お客様の前で演奏の機会を重ねるごとに、少しずつ目指すものが見えてきたような気がします。太鼓と、変えたいと思つた自分と、最後まで、全力で向き合っていきます。



自分ってなんだ？

のなか じゅんぺい
野仲純平

21歳 埼玉県入間市出身

常に自分と向き合う日々。研修所の生活はしんどいけれど、新しい自分に出会えるのが楽しい好きだ。

実はそう実感できたのは二年生になつてから。入所したての自分は人とぶつかることをさげ、人に意見も言えず思つたことも自分の中で飲み込んでいた。それは自分が人からどう思われるかとか、嫌われたくないとか、結局自分が一番かわいかったからではないかと思う。でも、ここでの一年半の生活は、そんな自分を良い意味でこわしてくれた。自分自身をさらけ出し色々な感情を表に出すことで、それが音の表現にもつながっていく。今さらかもしれないけれど、残り三ヶ月、もっと自分をさらけ出して、知らない自分に会えるのを楽しみに生活していこう。



「自信」とは何？

バジゲル・アニーナ
Annina Baetziger

26歳 スイス出身

入所したときの私はよく「自信がないように見える」と言われました。一年半研修所で生活して、今の私はまだ自信がついていませんが、たくさん「自信とは何か」と考えてきました。

自信とは何？ それは、自分を信用することだと思えます。
演奏中に自分を信用できるようになるために必要なのは、たくさん稽古をすることです。演奏中に何が起きても対応できるまで、そして自分が自分の演奏に満足できるところまで稽古すれば、そのやってきたことをベースに自分に信用をもつことができるでしょう。たくさん考えて、どうすれば自信がつくのかかわつたので、不安はなくなりしました。これから何年かかっても、満足ができるまでたくさん稽古をして、自分を信用できるようになります。



一年生

〈38期〉



石崎亮治

佐野健士龍

熊田和也

三方政義

見目萌

宮澤和己

樋口明日加

関川虎之介

小西諒

名前、年齢、出身地
 1 研修所に来る前、何をしていたか
 2 特技・得意料理
 3 研修所でのポジション(係、役割、役どころ)
 4 佐渡で見つけた宝物
 5 自己紹介

小西諒 (こにしりょう)

19歳 兵庫県明石市出身

- 1 回転寿司でアルバイトをしながら大学生活を送っていました。
 - 2 【特技】三点倒立。お寿司の大食い。
 - 3 【得意料理】春巻きとニンジンドレッシング
 - 4 イジられ兼ネタ担当。畑係。
 - 5 同期のみんな。優しい島民の方々。そして家族や友人の支え。
- 研修所の男性の中で一番身長が低い「二」こと小西諒です。研修所に来て約7ヶ月。この研修所での生活は時にはきつ、時には苦しく、決して楽ではありません。ですが、両親や友人、地元の後輩の応援を思い出す度にまた頑張ろうと思えます。これからも初心を忘れず、悔いを残さず、頑張っていきたいと思います!!

熊田和也 (くまだかずや)

21歳 埼玉県飯能市出身

- 1 大学に通いながらスターバックスコーヒーの店員をしていました。
 - 2 【特技】人がくちずさんだ歌に即興でハモること
 - 3 【得意料理】しょうが焼き
 - 4 食材管理、田んぼ係、床屋さん
 - 5 夏の終わり際に見た天ノ川
- 初めまして。毎オフ研修生男子の散髪をしています「床屋の力ズヤ」です。研修所に来て太鼓や料理だけでなく、髪を切る技術も向上するとは思っていませんでした笑。ここでは生活を通して体験的な学びで様々な力が身につきますが、特に価値を創造する力が磨かれると思います。技と心を大切に頑張ります。

石崎亮治 (いしざきりょうじ)

23歳 熊本県熊本市出身

- 1 鳥取大学で木材の音響特性について研究している大学生でした。
 - 2 【特技】縄跳び、竹馬
 - 3 【得意料理】フレンチトースト
 - 4 研修所の戸締り担当
 - 5 一軒一軒、家ごとに門付けしていく佐渡の祭り。と鬼太鼓。
- 高校の部活動で太鼓と出逢い、大学生になつてからも地域のチームに所属して太鼓を続けていました。大学では木・水・土について学び、木材利用学を専攻。サークル活動で箏や三味線も経験しました。同期の中では一番年上ですが、体力面で負けないように頑張っています。朝のラニングが楽しくなってきました。

樋口明日加 (ひぐちあすか)

19歳 京都府京都市出身

- 1 和太鼓やピアノ、歌を習って音楽に囲まれた生活を送っていました。
 - 2 【特技】猫と話せます!
 - 3 【得意料理】ポテトサラダ
 - 4 研修所の猫担当(飼育係?)
 - 5 周りの人と深く関わる事の素晴らしさと幸せを知れた事です。
- 初めまして、あすかですーよろしくお願ひします! 私は人より動植物と会話する方が好きで、人に対して素直に自分を表現する事ができませんでした。研修所に来て人とよく話そうようになって、太鼓の音や踊りも以前より素直になった気がします。猫とも、研修生とも仲良く! 頑張って参ります。

宮澤和己 (みやざわかずき)

18歳 静岡県伊豆の国市出身

- 1 面白いことが大好きな高校生!
 - 2 【特技】パワーでゴリ押しすること!
 - 3 【得意料理】中華料理
 - 4 お笑い芸人、熱意あふれる柿係。
 - 5 応援してくれる家族や後輩。と佐渡のおいしい柿。
- はじめまして! 僕が研修所に来て初めて壁にぶつかったのは、太鼓のことではなく身の周りの生活のことでした。料理や洗濯など、簡単に出来ると思っていたつもりが、実際やってみると、今までどれだけ親に助けられていたか分かりました。研修所生活、太鼓はもちろんですが、生活の一つ一つも大切に頑張ります!

三方政義 (みかたまさよし)

19歳 京都府城陽市出身

- 1 高校生でした。
 - 2 【特技】裁縫
 - 3 【得意料理】炒め物系
 - 4 38期のイジられ役。
 - 5 同期。佐渡で出会った方々。
- はじめまして!! 僕は、この研修所に来る前から太鼓が大好きで、時間があつたら家でもたたいていて、そんな日々を送っていました。研修所に来からは、太鼓以外の事と出会い、失敗の連続のような日々を送っています。しかし、これも経験だと思ひ、これからも頑張って行きます!! よろしくお願ひします。

佐野健士龍 (さのけんしろう)

19歳 神奈川県横浜市出身

- 1 三度の飯より太鼓。ですが、しっかりとご飯は食べる高校生をしてみました。
 - 2 【特技】やると決めたら諦めないこと
 - 3 【得意料理】なすとピーマンのみそ炒め
 - 4 卵の管理担当。発注漏れは非難の嵐。
 - 5 澄んだ空気、おいしい水、そして家族のように接してくださる集落の方々
- こんにちは! 生粋の浜っ子、佐野健士龍です。僕は、はつきり言つてこの研修所に来る前まで親に甘えてばかりでした! 恥かしい... ですが、どうにか自分に染み付いた色んなことに対する甘えを取り除こうと思ひ入所しました。まだまだ未熟ですが、大きな自然、同期、そして太鼓に向き合い、全力で打ち込みます!!

関川虎之介 (せきかわとらのすけ)

19歳 北海道札幌市出身

- 1 普通の高校生。部活、バイトをしながら友達と遊びまわっていました!
 - 2 【特技】バドミントン、サッカー、スケボー
 - 3 【得意料理】ごまあえ、からあげ
 - 4 牛乳係。良くも悪くもうるさい役。
 - 5 佐渡の方とのつながり。綺麗な大自然。十家族、地元の方々の大っきさ。
- 初めまして! 現在研修所で一番背がでかい「こら」です。研修所に来て約半年が経ちました。今一番思うことは家族、友達、特別な人、お世話になった方々への感謝の気持ちです。研修生活をしていて自分とは色んな方から応援していただいていると感じる事が多くあります。毎日感謝を忘れず、日々頑張っしていきます!

見目萌 (けんもくもえ)

19歳 東京都町田市出身

- 1 高校生。美術専攻でデザインを学んでいました。
 - 2 【特技】華道、書道
 - 3 【得意料理】シチュー
 - 4 おばあちゃん。らしいです。
 - 5 佐渡の人の温かさ。と祭りに対する熱い思い。応援してくれる人の存在。
- はじめまして、研修所で「けん」と呼ばれています見目萌です。入所して半年、自分を持ち続け、自分を変え続けるシンプルなお話がどれほど大切で難しいか感じる毎日です。至る所に学びが転がっている研修生活。沢山の気付きや心の動きを大切に、まっすぐまっすぐ、私らしく、頑張ります。よろしくお願ひします!



ランニング



挨拶



踊りの稽古



「三宅」の稽古



入所式



体幹トレーニング

鼓童文化財団研修所 ご支援のお願い

太鼓芸能集団「鼓童」の舞台を花にたとえれば、研修所はベースとなる土を耕し、根を育む活動にあたります。鼓童は財団を設立して以来、研修所を公益的な活動と位置づけて運営してまいりました。演奏の技術はもとより、その人間性すべてが舞台上にそのまま表れるとの考えから「くらす・まなぶ・つくる」を柱に、まず何よりも生き方を磨くことに重きを置いております。

ぜひ、夢に向かう研修生の思いを支えていただけませんか。皆様のご理解とご協力をいただければ幸いです。なお、お寄せいただいた支援金は、公益財団法人への寄付金として、所得税(お住まいの自治体によっては住民税も)の優遇措置の対象となります。

研修生育成支援

1 研修所設備補修、研修生育成支援

1996年に旧岩首中学校の校舎跡をお借りして開所し、研修生の学び舎、そして生活の場でもある「柿野浦研修所」。築60年を越えて老朽化した建物は補修の必要があり、また研修所の運営にも年間約3,000万円の費用がかかります。

老朽化した研修所の建物を今後も維持・活用し、安全でかつ豊かな自然に囲まれた環境の中で研修生を育成していくため、皆様より引き続き「研修生育成支援」にご協力いただけますようお願い申し上げます。

ご送金先

[郵便振替]

加入者名：公益財団法人鼓童文化財団

口座番号：00690-9-25829

「研修生育成支援」と明記の上ご送金ください。

[銀行振込]

口座名義：(財)鼓童文化財団 ザイ。)コドウブンカザイダン

第四銀行 南佐渡支店 普通 1143861

三菱UFJ銀行 新潟支店 普通 142468

[インターネット]

鼓童ウェブサイトより、クレジットカード(またはPayPal)でもご決済いただけます。

2 鼓童×きしゃぼん

「どんどこ古本募金プロジェクト」



KODO × きしゃぼん

鼓童文化財団は「古本募金きしゃぼん」の協働パートナーです。「きしゃぼん」は、ご自宅に眠っている本・DVDなどをリサイクル換金し、指定の団体(協働パートナー)に寄付する仕組みです。当プロジェクトを通じていただくご寄付は、研修生の支援に使わせていただきます。

[お問い合わせ] 古本募金きしゃぼん

フリーダイヤル 0120-29-7000

URL: <http://kishapon.com/kodo/>

3 物による支援(インカインド)

鼓童ではご寄付によるご協力のほか、物品等のご提供によるご支援も承っております。2019年度もレコードやお米など様々な物をご提供いただきました。このようなご支援をいただける方は、ぜひ鼓童文化財団までご連絡をいただけますようお願いいたします。

※ ②、③は税法上の優遇措置はございません。

「太鼓芸能集団 鼓童」メンバー養成コース 研修生募集

鼓童文化財団では毎年、鼓童の次代を担う研修生を募集しています。(2020年度の募集は終了しました。)



8月・夏の体験入所の様子

研修期間 2年間

応募資格 原則として18歳以上25歳以下。太鼓の経験の有無、性別、学歴、国籍は問いません。

応募～研修生になるまで 今年は初めて面接を2回実施します。(2021年度の詳細は未定)

7月頃

応募受付
開始

10月～11月

応募締切
(応募書類提出)

1回目 10月 2回目 11月

11月、1月

実地面接
(佐渡にて2日間)

1回目 11月 2回目 1月

4月

研修所入所

詳しくは鼓童ウェブサイト内「鼓童文化財団研修所」をご覧ください。またはお電話、メール等でお問い合わせください。若い皆様の挑戦、心よりお待ちしております。応募を検討中の方、どんなところか知りたい方などを対象に「研修所体験入所」も随時受け入れいたします。(基本は1泊2日/日帰りも可能)お気軽にお問い合わせください。

応募・お問合せ

(公財)鼓童文化財団 担当:石原泰彦、本間康子

Tel. 0259-81-4100 Email: kenshujo@kodo.or.jp

鼓童ウェブサイト内「鼓童文化財団研修所」 <https://www.kodo.or.jp/apr>

